



知らなくて損してる? 弁護士が教えてくれる「生活と憲法」の話!

講演会「檻の中のライオン」inしもつま

3月26日(日)午後1時30分から、「楽しくわかりやすい憲法エンターテインメント」として、「檻の中のライオン」講演会が下妻市で開催されました。主催は実行委員会。会長は、「平和の会しもつま」の事務局長である青木勇さん。下妻市教育委員会の後援もあり、市の教育長と担当者が参加する中で、憲法の学習会でした。当日は雨天でしたが、事前予約を徹底したこともあり、用意された80席は満席。熱気あふれた学習会となりました。講師は、広島市民法律事務所所長・椋 大樹(はんどうだいぎ)弁護士です。



▲講演する椋弁護士

「檻の中のライオン」講演会は、市民だけでなく、小中高、短大、大学や自治体等も主催し、全国47都道府県で600回以上開催されており、楽しくてわかりやすいと好評を博しています。

ライオンとは主権者の国民から負託された「権力者」、檻とは「憲法」です。主権者としての国民、権力を行使する政府(ライオン)、権力行使を規制する憲法(檻)との関係が分かりやすく、笑いの中で進められました。話を聞いたあと、主権者としての自覚が深まり、主権者として行動する意欲や自信も湧いてきます。2時間半の講演はアツという間に過ぎ、もっと聞いていたいと思いました。

「平和の会しもつま」 青木勇事務局長(実行委員会代表)の談話

雨降中の講演会になりましたが、予定した80名ちょうどの参加者(スタッフ入れて)がそろそろ中、私、青木が実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。



1分間の挨拶で私は、①我々12名の実行委員が決めたサブテーマが「あらためて私たちの憲法を知る」、②下妻市と市教育委員会が初めて後援してくれた③本日の講師は「檻の中のライオン」というベストセラーの著者であり、広島の弁護士である椋大樹(はんどうだいぎ)さんです、と話して降壇しました。

実はこの先生より、講演会を開くにあたって、主催者挨拶は1分間程度、講演時間は2時間半いただきたいなど16ページのマニュアルを頂戴しています。

肝心の内容については、YouTube動画で「檻の中のライオン」と検索すればご覧になれます。

問題意識としては、なぜ憲法があるのか。なぜ憲法を学ぶのか。そして憲法の根っこの部分として、第11条と97条(天賦人権)や13条(個人の尊重)あたりから論が展開していく感じです。

「大軍拡・戦争国家づくりストップ! 平和への大転換を」

その実現を草の根で担う力は、仲間づくりにこそ!



県平和委員会は4月6日(木)、月例の事務局会議を開催。3月18日に開催した常任理事会方針の具体化について討議しました。

仲間づくりでは、前回の常任理事会で話し合った「すべての会で1人の仲間を迎えよう」と確認しました。地域で結成されている30余の平和の会(委員会)のうち、現在までに3つの会で仲間を迎え入れています。

会議に参加した日本平和委員会の岩月次長から、「『すべての会で1人を』の方針を実現するために、すべての会にチャレンジャーを」との呼びかけがあり、出席した5人のうち1人がその場で登録しました。静岡県で

は、4月5日の常任理事会で1人登録しています。計6地域7人となりました。登録した方の抱負には、「しばらく拡大には遠ざかっていました。4月に1人迎えました」とありました。

日本平和委員会によると、4月6日現在のチャレンジャー登録は、15都県37地域76人。確認された目標や達成状況は以下の通りです。

目標	会員 187人	新聞 205部	運動誌51部
到達	会員 11人	新聞 5部	運動誌 6部
自主目標達成者: 会員1人、 運動誌3人			

茨城県平和委員会第3回理事会のお知らせ

午前 県平和委員会 第3回理事会 & 30周年記念式典 開催 午後

地域平和の会(委員会)も総会を進めよう!

第3回理事会を下記の日程でおこないます。主な議題は、「当面の活動方針と大会議案関係」です。参加の有無をご報告ください。よろしくお願ひします。また、地域平和の会(委員会)も総会を進めましょう。

《茨城県平和委員会 第3回理事会》

日程 5月13日(土) 10時~12時15分

場所 水戸共同ビル2階 水戸市白梅3-13-8

理事会後、「茨城県平和委員会30周年記念式典」が「水戸みまつホテル」でおこなわれます。ホテルの送迎バスを手配しました。理事会に出席された常任理事・理事の皆さんは、「記念式典」にも、ぜひご参加ください。会費は一人4千円です。飲酒される場合は、JRなど公共交通機関を使って、理事会にご出席ください。

日程 5月13日(土) 午後1時~3時 ※12:30開場

場所 水戸みまつホテル -送迎バスで移動-
水戸市宮町2-4-26 029-224-3005

会費 4,000円

内容 30周年記念誌の発表+

茨城県平和委員会は、「茨城県平和委員会30周年記念式典」の開催に際して、関係団体や個人に対して、右の内容の案内状を送付しました。

案内状

2023年4月吉日

茨城県平和委員会30周年記念式典ご案内

日頃より県内の平和運動などにご尽力されていることに敬意を表します。また私どもの活動へのご理解ご協力に心から感謝申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵略戦争を「理由」にしてフィンランドがNATOに加盟するなど軍拡競争が再び脅威となっています。日本も昨年12月16日、岸田内閣によって「安保3文書」改訂が閣議決定され、「敵基地攻撃能力の保有」を認め、米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国になろうとしています。

さらに岸田首相は、存立危機事態では「先制攻撃」も「行使しうる」と答弁するなど国民に信を問うこともなく「戦争準備」を始めています。自衛隊主要司令部等の地下化や大型火薬庫の建設などの「強朝化」、スタンドオフミサイルの配備等によって「日本全土の戦場化」を進めようとしており5年後、10年後の日本はどんな姿になっているのかと危惧されます。

県内の平和運動を担ってきた諸団体は短期的な闘い、そして長期的な運動の推進がいつそう求められています。

さて、茨城県平和委員会は1991年に再再建し、昨年30周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響によって記念式典が開催出来ずにいました。この度、「30周年記念誌」発行に至りましたので、「茨城県平和委員会30周年記念式典」へのご案内を差し上げます。ご出席またはメッセージを寄せていただければ幸いです。

日程 5月13日(土) 13時から15時 ※12時30分開場

場所 「水戸みまつホテル」 水戸市宮町2丁目4-26

TEL 029-224-3005

会費 一人 4千円

茨城県平和委員会代表理事 飯田美弥子
近藤輝男
木村 泉

それでも私たちは歩き続ける。

3月28日に音楽家の坂本龍一氏が亡くなりました。ご存知のように坂本さんは創作活動の傍ら市民運動にも積極的に関わり、脱原発や3.11以降福島の人々の復興にも尽力されていました。先日東京の神宮外苑再開場で千本もの樹木が伐採されることへの見直しを訴え、都知事などへ手紙を送っていたとの報道がありました。



様々な追悼番組がありましたが、その中で彼について「とことん自由であることにこだわった人」だったとのコメントが印象に残ります。だから、誰かの自由が奪われることには声をあげずにはいられなかったのでしょう。私たちの「自由」や「平和」を守

—3月の訃報に思いを寄せて—

る運動は続きます。ご冥福をお祈りします。

また、3月3日には作家の大江健三郎氏の訃報もありました。反戦や非核の精神を貫き沖縄の人たちにも寄り添い、文字を通して権力と戦い続けた姿は多くの人の記憶に刻まれています。人柄をよく知る沖縄の方が「見識よりも感性の鋭い人だった」と語っていました。

このお二人に共通するのは「他者への共感から生じる大きな優しさ」のように感じます。その感性は私たちの中にこれからもずっと生き続けていくのだと思います。

(石岡平和の会 増山みゆき)

写真はいずれもWikipediaより

